

第6回 境川かわまちづくり懇談会議事録（概要）

1 開催日時 令和4年11月28日（月） 14時00分～16時00分

2 開催場所 浦安市消防本部 3階多目的ホール

3 出席者

（学識者）2名

法政大学 陣内 秀信 特任教授

早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 佐々木 葉 教授

（沿川自治会）代表者7名

猫実四丁目自治会、堀江一丁目自治会、堀江三丁目自治会、堀江四丁目自治会、
猫実東自治会、潮音の街自治会、タイムレスタウン新浦安自治会

（関係団体）代表者7名

境川であそぼう実行委員会、浦安水辺の会、浦安市カヌー協会、ふるさと浦安かっぱ村
うらやす景観まちづくりフォーラム、みどりのネットワーク
一般社団法人浦安観光コンベンション協会

（河川管理者）2名

千葉県葛南土木事務所 調整課 芦村課長

永井主査

（事務局）9名

道路整備課 須賀課長、小泉課長補佐、千葉河川海岸係長、田中工務係長
竹内主任主事、岩楯主任主事、広瀬主任主事

商工観光課 金島主任主事

郷土博物館 島村副主幹

（事務局補助）4名

公益財団法人リバーフロント研究所 土屋、八町、利満、坂本

4 議 題

- (1) 前回の振り返り
- (2) 今後のスケジュール
- (3) 事例紹介
- (4) 質疑応答・全体討議
- (5) かわまちづくり計画の構成
- (6) その他

5 会議経過

- (1) 前回の振り返り

前回の振り返りとして、第5回懇談会の開催状況、主な意見及び「境川かわまちを進める会」のテーマ設定について説明を行った。

- (2) 今後のスケジュール

かわまちづくり計画登録までのスケジュール案、「懇談会」「境川かわまちを進める会」「協議会」の役割について説明を行った。

- (3) 事例紹介

全国のかわまちづくりの事例のほか、協議会の運営や活動、水質維持について江戸川区新川や江東内部河川などの事例紹介を行った。

- (4) 質疑応答・全体討議

質疑応答

Q. 「かわまちづくり」などを進めている地区では、どのようにして活動している方たちのアイデアがまとまり、市民の意向と従来の活動が絡み合うような展開になったのか。
A. ある川では、かわまちづくりを進める下流側と川の環境を支える上流側が交流し考えを共有した。また、ある川では、行政側が川を見えなくしているコンクリート壁を取り除くという話から、市民が川沿いに桜を植えようと募金を始め、その募金で苗木を購入した。
Q. 協議会の運営には相当の事務量が発生すると思うが、実際には誰が中心となって進めているのか。
A. 最初は行政（市）が中心となり事務局として協議会の運営を行うとともにスロープや栈橋の整備など、一定の予算を付けて新たな活動の入口を用意している事例がある。
Q. 事例では川だけでなく、公園などまちづくりの中で活動が広がっているが、「かわまちづくり」はどのような重みがあり、どこまでできるのか。
A. 川の中だけではなく、その外側に滲み出る活動は自由に発想してよい。協議会ができる、公園利用など1団体では難しかったこともやりやすくなる。
Q. 活動するには費用がかかる。去年のかわまち大賞の事例では、民間事業者が入りその利益を上手く使うスキームになっているように思うが、費用についてはどう考えるか。
A. 収入を得る方法は千差万別であり、決まりはない。何で収入を得るかは創意工夫も必要である。ある川では、河川で物販する場合は、その収益の一部を協議会に納めている。それを活動費に充てている。

全体討議

主な意見

- ・ 川だけでなく、周辺のまちづくりを含めて活動を広げていくのであれば、元町地域の昔の漁師町の面影が残るところは、路地と空間を繋ぎ回遊性を高めてまち側へ広げるとか、中町地域や新町地域は公園など含めてかわまちづくりの活動を広げていくことが考えられる。
- ・ 境川が背骨だとすると見明川や三番瀬の干潟、あるいは東京湾が肋骨になる。そのくらいのスケールでやらないとただ境川を何とかしましようという事だけになってしまう。
- ・ 公園などのオープンスペースとの連携も水と緑という発想の中で考えた方がよい。
- ・ 協議会での活動には費用が発生するが、ボランティア的な活動は、今は非常に難しい。活動の実効性を確保するためには、収益を得られるスキームが必要ではないか。
- ・ 修景整備された境川に人が通らないのは、お店がないからだと思う。
- ・ 春まつり（カフェテラス in 境川）の時にエリアでない場所でも商売をしている人がいた。境川で継続的に何か行えば、お店をやる人が現れるではないか。

学識者より講評

- ・ 民間事業者が川沿いに出店し、何か面白い事業をやろうとする場合は、環境を整備するなど魅力的な場所にならないと難しい。
- ・ それには市や市民が頑張ってムーブメントを作らないといけない。

(5) かわまちづくり計画書の構成

かわまちづくり計画の構成や必要な事項について説明を行った。

(6) その他

- ・ 境川かわまちづくりの核となる基本方針については、今回も含めた今までに出された意見の中にたくさんのヒントやエッセンスが入っていたと考える。
- ・ 次回懇談会までに事務局で基本方針案を作成し皆さんに提示したい。
- ・ 次回懇談会前の12月中旬以降に3テーマ合同の境川かわまちを進める会の開催を考えている。
- ・ 第7回懇談会については、来年2月後半の開催を予定している。

開催状況写真



懇談会 開催状況



懇談会 開催状況



懇談会 開催状況

